



# 労福協たより

2024年3月

第31号  
発行責任者  
飯室 憲一

## 富士宮市へ行政要望書を提出しました

2023年12月12日（火）富士宮市役所において、富士宮市に対し**行政要望書を提出**しました。市からは須藤富士宮市長のほか担当部署の代表、労福協からは飯室会長、高橋副会長、足立副会長、浦本事務局長、高橋事務局次長の5名が参加し、富士宮市の勤労者の声に耳を傾けていただきました。**労福協会員からの多くの要望事項を集約しましたが、三役会・幹事会を経て以下の4項目に取りまとめています。**

### 【富士宮地区労福協の要望事項】

1. 図書館サービスに係る市民満足度の調査及び向上について
2. 不登校対策支援員の拡充及び支援員確保のための手当拡充について
3. 民間企業やボランティア団体と連携した大規模災害対策について
4. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進について



冒頭、飯室会長から須藤市長に要望書を提出しつつ、市長に対し公務多忙の中にあっても、毎年熱心に勤労者の声に耳を傾けていただけのことに感謝申し上げるとともに、労福協は地区の勤労者の声を行政に届ける役割を担っているため、今後も真摯な検討と協議をお願いしました。

市長からは要望項目ごとに丁寧な回答と詳細な説明がされました。

**飯室会長より、地域社会の課題解決のため、労福協として行政やNPO等と連携していきたい旨の意見をし、有意義な意見交換の場となりました。**

富士宮地区労福協は、勤労者からの声を行政に届けるため今後も活動を続けていきますので、要望事項集約のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。  
(要望と回答内容の詳細は労福協ホームページをご覧ください。)

## 新たな社会貢献取組み「竹林整備活動」

2023年11月18日（土）、社会貢献の取組みとして、第2回「**竹林整備活動**」をNPOホールアース研究所の協力により実施しました。**労福協役員を中心に16名が参加**しました。整備活動をさせていただいた場所は、ホールアース自然学校（富士宮市下柚野）近隣の芝川に沿った山裾です。竹は成長が早く、また地面浅くまでしか根を張らないことから、豪雨時などには表層の土砂ごと流れ落ちてしまう可能性があり、**放置しておく大きな災害につながる恐れがある**ほか、猪や鹿などの住処や餌場ともなり、**里山に深刻な獣害をもたらす**ため、竹林の整備は社会的にも私たちの生活の安全を守る意味でも非常に重要です。富士宮市内には未整備の竹林も多く、一部は大変危険な状態になっていることから、私たちの活動が、安心・安全な生活に繋がることを願いながら、森づくり活動と共に本活動も続けていきます。



## 「新年の集い」を安心・安全に開催しました

2024年1月26日（金）に「富士宮地区労福協新年の集い」を開催しました。71名の参加者が会場の富嶽温泉ホテル「花の湯」へと参集いただきました。今回はお弁当ではなく、会場内でお食事やお酒を提供させていただき、コロナ禍前に近い形で開催しました。

冒頭、飯室会長からは、労福協が励む森づくり・里山づくりについてやNPOなどと連携した新たな取組みについて述べられ「皆さんが行動を起こすことが、より良い市をつくることに繋がる。共助の輪、支えあうことを大切に今年も活動をお願いしたい。」との挨拶がありました。また、来賓としてご臨席いただきました須藤市長からは、コロナ禍の経済対策として実施したプレミアム商品券事業では44億円の経済波及効果があったことや、今後公共施設の改修や子供たちが過ごしやすい公園整備に力を入れる旨のお話がありました。

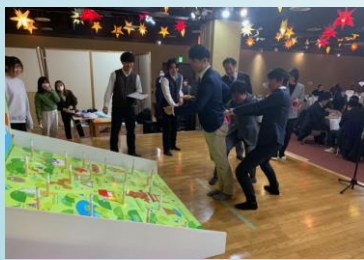
本年は、浦本事務局長の司会で進行し、高橋副会長による乾杯、歓談後に例年同様「若者の会」による輪投げゲームを実施しました。

ゲームのあとは、メインイベントの大抽選会です。労福協幹事会員や福祉事業団体、退福共から提供された賞品を中心に、今年も豪華賞品を取り揃えました。足立副会長による円滑な進行により、提供された賞品の説明と抽選をし、参加者へ次々と賞品が手渡され、高額な商品券やお目当ての賞品をゲットされた方は大変喜んでいらっしゃいました。



最後に、塩川副会長より閉会の挨拶があり、今年最初の気持ち合わせができました。

新年のスタートにあたり、多くの会員の皆様と新年の顔合わせができ、ゲームや抽選会で楽しいひと時を過ごすことができました。



## 大人気「いちご狩りイベント」

2024年2月4日（日）と10日（土）の2回、「いちご狩りイベント」を開催しました。少人数・近距離・現地集合解散のイベントとして人気の恒例行事となりましたが、今年も100名の募集に対しなんと694名と大変多くのご応募をいただいたため、各枠5名分を新たに追加して抽選を実施し、合計で33組122名のみなさまにご参加いただきました。

初日はあいにくの雨模様でしたがハウス内は温かく、2日目は晴天で上着を着ていると暑いくらいでしたが、参加された皆さんは、大振りのいちごをしっかりと選んで黙々と口に運んでいました。肌寒さの残る中ではありましたが、ハウス内にはミツバチが飛び交う姿や、甘いいちごの香りもあって、春を感じられる楽しいイベントになりました。来年は、募集枠を広げ、より多くの方が当選できるよう検討します。



## つながる仲間ミーティング開催

2024年2月27日（火）、ろうきん富士宮支店にて、富士宮地区つながる仲間ミーティングを開催しました。ミーティングには当地区役員2名の他、静岡県福祉基金協会2名、NPO母力向上委員会2名により行われました。

このミーティングでは、地域の社会的課題解決のため、合同会議（つながる仲間ミーティング）を開催し、労働団体、福祉事業団体、NPOについて基本的な部分の理解を深めました。次のステップとしてNPOが取り組む社会的課題と福祉事業団体で何ができるのか調整を行いながら「幸せを支え合う社会を実現する」プロジェクトを検討します。労福協の新たな社会貢献活動の柱として、一過性ではない継続した活動となるよう育てていきます。

NPO法人  
母力向上委員会

haha  
ryoku

活動の詳細は「富士宮地区労福協ホームページ」を是非ご覧ください！